

資料区分	機能設計書	機能	【S3】作業管理	作成日	2006/09/02	承認日		page. 1
機能分類	【S3_4】売掛計上	機能ID	【S3_4_2】締日請求データ作成機能	作成者	酒井	承認者		

1. 機能概要

締日請求の定額（包括契約、自主保全契約、リース契約）以外の請求書情報を作成する。また、作成した請求書情報の削除を行う。

2. 機能定義

2.1 共通

- (1) 画面から実行を指示するオンラインバッチジョブとする。
※ バッチジョブは非同期実行となるため、実行状況および実行結果の確認はバッチジョブの実行を管理するJP1の画面で行うこととする。
- (2) バッチジョブは1請求先顧客、かつ1以上の請求本支店（請求部門コード上3桁）単位で実行する。
※ 複数の請求先顧客を指定した実行は不可とする。複数の請求本支店を指定しての実行は可能とする。
- (3) 請求部門は請求編集情報の作業組織コードの部門（作業組織コードの上6桁）とする。

2.2 締日請求データ作成

- (1) 画面から指定された条件に一致する締日請求の請求編集情報をもとに請求書情報を作成する。
- (2) 作業ステータスが‘8’（請求編集）の請求編集情報を対象とする。請求書情報を再作成する場合は既存の請求書情報を削除してから実行することとする。
- (3) 3枚パターン/Aパターン/Bパターン用の請求書情報と、公租公課用の請求書情報を作成する。
- (4) 請求編集情報の請求先顧客コード、請求分類をもとに請求分類マスタを参照し、3枚パターン用またはAパターン/Bパターン用の請求書情報の何れかを作成する。
 - ① 請求大分類が設定されている請求分類の場合は請求年月×請求先顧客×請求部門×請求大分類ごとに3枚パターン用の請求書情報を作成する。
 - ② 請求大分類が設定されていない請求分類の場合は、請求年月×請求先顧客×請求部門×請求分類ごとにAパターン/Bパターン用の請求書情報を作成する。
 ※ 上記の単位で請求年月を基に請求書Noを採番する。
- (5) 公租公課の請求書情報は、請求分類マスタに‘ZZ’（公租公課）の請求分類が設定されている請求先顧客のみ、請求年月×請求先顧客×請求部門ごとに公租公課用の請求書情報を作成する。
※ 上記の単位で請求年月を基に請求書Noを採番する。（請求年月、請求先顧客、請求部門が同一でも、3枚パターン/Aパターン/Bパターン用の請求書情報とは別の請求書Noを採番する。）
- (6) 公租公課・その他の請求金額は、公租公課用の請求書情報にのみ出力し、3枚パターン/Aパターン/Bパターン用の請求書情報には出力しない。
※ 請求分類マスタに‘ZZ’（公租公課）の請求分類が設定されていない請求先顧客も同様とする。
- (7) 請求書情報を再作成する場合、新規に請求書Noを採番せず、新規作成時に採番した請求書Noを再利用する。
- (8) 請求書情報作成時、作成対象の請求編集情報に関連する作業指示実績情報の作業ステータスを‘9’（請求データ作成）に更新する。同様に作業ステータス管理の請求データ作成日、請求データ作成社員番号にそれぞれ運用日付、ログインユーザの社員番号をセットする。
- (9) 請求年月×請求先顧客×請求本支店ごとに締日（年月日）の履歴を管理する。
- (10) オーダー統合を行った後、請求編集を行っていない作業指示書が、画面から指定した実行条件で存在する場合、締日請求データ作成処理を行えないものとする。

資料区分	機能設計書	機能	【S3】作業管理	作成日	2006/09/02	承認日		page. 2
機能分類	【S3_4】売掛計上	機能ID	【S3_4_2】締日請求データ作成機能	作成者	酒井	承認者		

2.3 締日請求データ削除

- (1) 画面から指定された条件に一致する締日請求の請求書情報および締日履歴を削除する。
- (2) 作業ステータスが‘9’（請求データ作成）または‘A’（請求完了）の請求書情報を削除可能とする。作業ステータスが‘C’（売掛連動）になった請求書情報は削除不可とする。
- (3) 最新の請求年月の請求書情報のみを削除可能とする。画面から指定された請求先顧客、請求本支店と同一で、かつ画面から指定された請求年月より新しい請求書情報が存在する場合は、削除不可とする。
- (4) 請求書情報削除時、削除対象の請求書情報に関連する作業指示実績情報の作業ステータスを‘8’（請求編集）に更新する（作業ステータス管理の請求データ作成日、請求データ作成社員番号、請求完了日、請求完了登録社員番号は更新 / 削除しない）。
- (5) 作業ステータスを更新した作業指示書 NO が定額公租公課紐付け情報に登録されている場合、該当レコードの請求書 NO と枝番をクリア（null 更新）する。

3. 画面仕様

※ 画面項目定義、画面一覧、画面遷移図、画面レイアウト、入力チェック仕様については別紙参照。

3.1 請求書作成サブメニュー画面

- (1) [締日請求データ作成]（アンカー）をクリックした場合、締日請求データ作成画面を表示する。

3.2 締日請求データ作成画面

【締日請求データを作成する場合】

- (1) 対象の請求先顧客、本支店、~~現場作業終了日~~を指定する。
- (2) 作成する請求書情報の請求年月を指定する。~~指定された請求年月以前の請求書未作成データ（作業ステータス“請求編集”、請求タイプ“締日請求”）を対象に請求書を作成する。~~
- ~~(3) 現場作業終了日、請求年月は、顧客コード、作業組織コードをもとに、次の値を自動設定する（上書き可能）。

 - ① 顧客コードおよび作業組織コードの上3桁をもとに締日履歴から前回締日を参照し、前回締日の翌日を現場作業終了日のFromに、前回請求年月の翌月を請求年月にセット。
 - ② 顧客コードをもとに取引先マスタの締日コードを参照し、Fromにセットした日の次の締日を算出して現場作業終了日のToにセット。~~
- (11) 実行種別で [請求データ作成] を指定する。
- (12) [実行] ボタンをクリックした場合、締日請求書データ作成バッチジョブを実行し、締日請求データ作成結果画面を表示する。

【締日請求データを削除する場合】

- (1) 対象の請求先顧客、本支店、請求年月を指定する。
- (2) 実行種別で [請求データ削除] を指定する。
- (3) [実行] ボタンをクリックした場合、締日請求書データ削除バッチジョブを実行し、締日請求データ作成結果画面を表示する。

3.3 締日請求データ作成結果画面

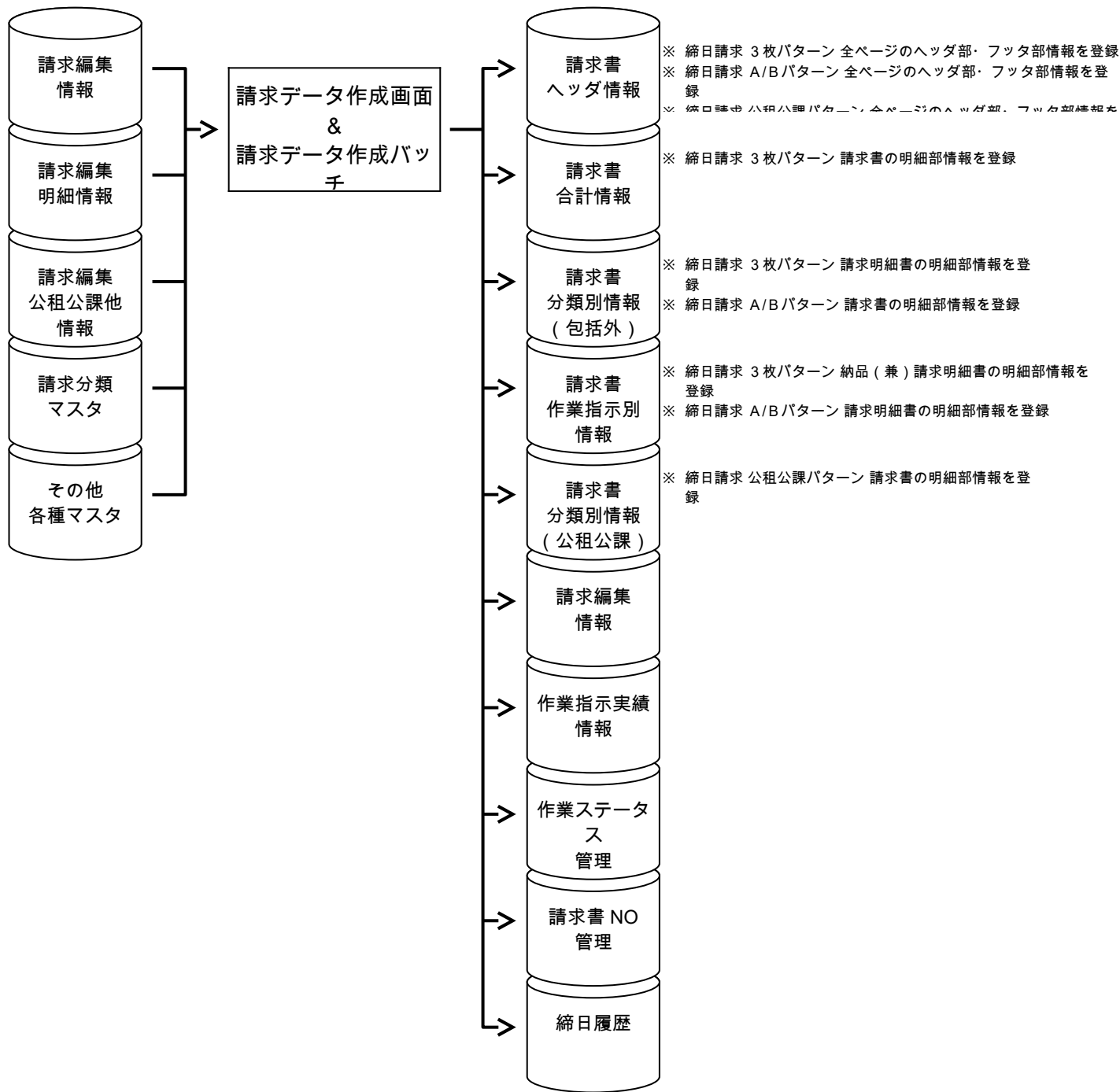
- (1) バッチジョブの起動結果を表示する。

資料区分	機能設計書	機能	【S3】作業管理	作成日	2006/09/02	承認日		page. 3
機能分類	【S3_4】売掛計上	機能 ID	【S3_4_2】締日請求データ作成機能	作成者	酒井	承認者		

4 . 帳票仕様
なし。

資料区分	機能設計書	機能	【S3】作業管理	作成日	2006/09/02	承認日		page. 4
機能分類	【S3_4】売掛計上	機能ID	【S3_4_2】締日請求データ作成機能	作成者	酒井	承認者		

5 . データ関連



資料区分	機能設計書	機能	【S3】作業管理	作成日	2006/09/02	承認日		page. 5
機能分類	【S3_4】売掛計上	機能 ID	【S3_4_2】締日請求データ作成機能	作成者	酒井	承認者		

資料区分	機能設計書	機能	【S3】作業管理	作成日	2006/09/02	承認日		page. 6
機能分類	【S3_4】売掛計上	機能 ID	【S3_4_2】締日請求データ作成機能	作成者	酒井	承認者		

6 . 特記事項
なし。